了了。学習 ●き,かけ 私たちが小学校低学年が頂を思い返してみると、今よりもメガネやコンタクトをしている人はも、と少なか、たと感じた。ではなぜ今は、こんなにも視力が 低下している人が内いのか。その理由を調べるべく、この機会に統計して、子どもたちの利用状況を関連付けながら考えてみた。 タフット学習で本当に視力は下がっているの?個かっとのひをするいと別時間 インターネット利用率(機器、学校種別) ■インターネット利用率 ■ 自宅用PC・タブレット ○こと"も家庭庁 2時間以上の割合 スマートフォン GIGA端末 小趣味概象 今和6年度 241 タブレルト学習をする」ことで **計年のインターネット** 利用環境実践調査 の方が圧倒的例 GIGA端末は 最近普及し始めた 視かかい悪くてする 15.8% 山高校生より小中 9.7% 学生の割合 82.0% 白かし山上学習を経続する」ことで 16.0% 75.4% ネ見かか悪くtまる 9,3% 23,1% 27,8% 23,4% (のからでタブレルト学習をおめて人か) 56.0% 最も明いが、小ちで目が悪くなった人は 45 30 15 0 O人や継続したいりい中2」X上で 教人自か悪くてみている 10 1時間未満 [時間1X上2時間未満 10 2時間以上3時間未満 50, 3時間以上4時間未満 4時間以上与時間未満 5時間以上6時間未満 《乳幼児の携帯スマホ利用率》

1/13/47 115 中2以(上(学年) いからカプレルト授業を物めてきり 小学校進学前(特に0~3歳)と、とても早い年代から ートフォン等に触れる機会が物にのが印象的! 目心悪くけったのはいつわ | のい 悪くけったのはいりに ・ クラスアッケートより (附属中3年)組3分から) 郷間2025年7月1日~7月17日 3~小学校就学贷 ·保育のお仕事しホート * y (2022年) タブルト授業で効率的になったか? 伽雅園い高校]視り1.0未満の割合 学校保健統計調查 文部科学省 11.8%(4人) 高枝→不中包 はい 小中的核子中电图 漢字が書けなく 幼稚園→あ到変化なり なってしまっている。 (打つことが内りいため) 88.2% 分からないところか あったらすぐに調べられる 月プレットは覚えにく しいなりはい (30人) いため、覚えるという 点では効率的では いつで代学習 月でしいト授業で、便利さ できる!! 2期間2025年7月1日~7月17日 (山梨大学教育部) になって効率的になったと のフラスアンケートより、34人 思っている!! を感じることが明くはった 昭和54 平成元 10 20 30 が、その反面、アメリットも挙 けられた。⇒長所、短所がある インターネットの利用時間 ・令和6年度青少年のインターネット利用環境実践調査 令和4年度調査結果(連報) ことも家庭庁 高校生 60 70 80(%) 授業での活用 01日あたりの平均利用時間 379.4分 73% (1) PIL 914) 一目瞭然 110417 17% 330.7分 302.3分 300 282.1 / 授業での活用 263.5/7 277.0分 247.84 259.4分 (金表画) 9% 226.3分 223.9分 213.7分 18234 200: 言果外活動 146.4 97 200/0 129.17 年ャインターネットの1日の平均利用時間は増えていて て"の活用 40/0 0 100 今後も増加が貝込まれる。 →利用時間が増えた理由:タブンレット学習の事入 4 % その人也 1 %

●考察・・・学校でケブレット学習が導入されてから、仁クーネットに触れる機会が非常に切くなっている。そのような中でも、視が低下を始めとしたケブレット学習 の様々なデメリットが考えられた。また、ケブレット学習が始まる前から視が低下は進んでいて、それにケブレット学習がかわったことでより視力低下が進んたいと考える。 このことから、これからの未来、タファレットで学習した方が効率的である数学の空間図形の学習や英語の発音学習などは、タファレットを活用し、問題を解くと、き などは、紙媒体の学習にするなど、使い分けていくことが大切ないと考えた。

のNTTドコモ、モハベイルる开究所より(2023年)

令和元年度

令和2年度

令和任何度

令和3年度

令和5年度

令和6年度 年